

『風の時代』に活躍する経営リーダーの育成

一般社団法人アーネスト育成財団
理事長 西河洋一

今、我々は『風の時代』の中にいます。大変革の中において想像を絶する色々なことが起きています。ネット社会において自由に情報が飛び交う中その変化は急速で価値観が定まらないまま、コロナ対策の影響もあり生活様式が変わっています。

3年前に『地の時代』から『風の時代』へ」と題し、このコラムに書いたことがあります。それから何か起きているかを回顧したいと思います。

『地の時代』が始まったのは産業革命の頃で、地球全体で「産業、労働、経済」を中心とした基盤作りをしてきました。貧富の差が明らかになって、お金持ちほど偉いという価値観の社会を、地の時代では生み出しました。世界的な新しい風が吹き始めている中、日本だけが新しい風を吹くことを避けてきました。経済的、科学技術的にも成長することから取り残されて、30年以上も経済成長をすることができずに孤立をしてきています。

そんな日本もコロナ禍で、テレワークやオンラインの急速な普及が起きました。生活様式も変わりました。在宅勤務が日常化し、多様な働き方ができるようになりました。通勤地獄も緩和され、オフィスから人がいなくなりました。新しい変化を見るようになると風の時代を実感できるようになりました。

風の時代になったとは言え、長く続いた地の時代の名残はまだしばらく残ります。これから20年程は地の時代と新しい流れがぶつかり合いながら、様々な価値観が生まれ変わっていきます。

いま始まっている『風の時代』では、これまでの資本主義・経済活動の基盤作りの時代から個々の権利や自由を開放する時代へと変わります。「個人、個々の自由と権利、平等性」がさげばれ、ネット社会において、人と人との繋がりが希薄になる中で、いかに人との関わり合いを作り上げるかが重要な時代となっています。

新しい時代は一人一人が主役です。自分の力で考えて、それを行動していく。それを繰り返すことでパワーが増し、幸せが舞い込んできます。同じ価値観を持つ仲間を増やし、新しい風の時代の到来を意識して、ポジティブな心でワクワクしながら新たな価値観を見つけてみましょう。

財団は、新しい風に乗って、新しい時代をつくれる経営リーダーを育成してまいります。